

●日本数学会賞秋季賞

辻井正人氏(九州大)「微分可能力学系のエルゴード理論における関数解析的手法」

●幾何学賞

河野俊丈氏(東京大)「幾何学的量子表現に関する一連の研究」

山ノ井克俊氏(東京工業大)「Gol'dberg-Mues 予想の解決」

●解析学賞

利根川吉廣氏(北海道大)「曲面の発展方程式の正則性理論の研究」

綿谷安男氏(九州大)「多角的な視点に基づく作用素環論の研究とその応用」

渡部俊朗氏(会津大)「レヴィ過程の分布の性質に関する深い研究」

●建部賢弘特別賞

ブノワ・コリンズ氏(東北大)「自由確率論とその応用」

安田健彦氏(大阪大)「モチーフ積分と特異点に関する研究」

長尾健太郎氏(名古屋大)「Donaldson-Thomas 理論と団代数」

●建部賢弘賞奨励賞

浜向直氏(東京大)「ハミルトン・ヤコビ方程式の数学解析と結晶成長への応用」

田中公氏(京都大)「正標数における極小モデル理論」

金子元氏(日本大)「代数的数のディオファントス近似と Emile Borel の予想」

谷本溶氏(東京大)「作用素環的方法による 2 次元場の量子論の研究」

糟谷久矢氏(東京工業大)「可解多様体のトポロジーと幾何」

小関健太氏(国立情報学研究所)「グラフのハミルトン性に関する研究」

●アーベル賞

ピエール・ドリリーニュ氏(プリンストン高等研究所)「代数幾何学への発展性ある貢献と、数論、表現論、および関連分野に変化をもたらした、その強い影響力に対して」

●平成 25 年度文部科学大臣表彰科学技術賞

赤平昌文氏(筑波大)「統計的高次漸近理論の研究」

藤原耕二氏(京都大)「滞在型プログラム JIR による数学研究の社会への理解増進」

●文部科学大臣表彰若手科学者賞

阿部知行氏(東京大)「数論的 D 加群の理論の基礎付けとラングランズ対応の研究」

加藤周氏(京都大)「Exotic Deligne-Langlands 対応の研究」

栗田和正氏(お茶の水女子大)「最適輸送理論に基づく熱分布の研究」

近藤倫生氏(龍谷大)「生物群集ネットワークの構造と維持メカニズムの研究」

増田直紀氏(東京大)「ネットワーク上の伝搬現象の研究」

●日本数学会賞春季賞

浅岡正幸氏(京都大)「双曲力学系および関連する幾何学の研究」

●日本数学会出版賞

砂田利一氏(明治大)「『ダイヤモンドはなぜ美しい』『バナッハ・タルスキーのパラドックス』などの啓蒙的著作を含む幅広い活動により、数学の魅力を多くの人々に伝えてきた功績」

●代数学賞

荒川知幸氏(京都大)「無限次元リー代数および W -代数の表現論の研究」

市野篤史氏(京都大)「保型表現とその周期の研究」

●JMSJ 論文賞

Nobuaki YAGITA, “Chow rings of nonabelian \mathfrak{p} -groups of order p^3 ”Vol. 64, No.2(2012), pp.507-531.

Gopal PRASAD, Sai- Kee YEUNG, “Nonexistence of arithmetic fake compact Hermitian symmetric spaces of type other than $A_n(n \leq 4)$ ”Vol. 64, No.3(2012), pp.683-731.

●ハイネマン賞数理物理学部門

神保道夫氏(立教大), 三輪哲二氏(京都大)「量子群・代数解析学・変形理論を用いた、可積分系と統計物理学・場の理論における相関関数の発展に対する深い研究」

●ウルフ賞(数学部門)

George D. Mostow 氏(エール大学名誉教授)「幾何学とリー群論への基本的・先駆的な貢献に対して」

Michael Artin 氏(マサチューセッツ工科大)「代数幾何学への根本的な貢献に対して」

●日本学術振興会賞

河原林健一氏(国立情報学研究所)「先端的グラフ理論を利用した離散数学、計算機学にわたる横断的研究」

中西賢次氏(京都大)「エネルギー凝縮と非線形波動・分散型方程式の非線形散乱理論」

●井上學術賞

平地健吾氏(東京大)「共形幾何および CR 幾何における放物型不変式論」

●井上研究奨励賞

米澤康好氏(名古屋大)「量子($sl_n, \wedge V_n$)絡み目不変量と行列分解」

●作用素環賞

松井宏樹氏(千葉大)「 C^* 環と力学系の分類に関する研究」

●文化功労者

甘利俊一氏(理化学研究所)「世界に先駆けて情報幾何学を創始し、神経回路網理論研究でも卓越した業績を残した」

安野光雅氏(画家、絵本作家)「優れたイラストレーターとして、画期的な絵本や叙情性豊かな絵本を発表した」